

新若戸道路擁壁部本体築造工事

大豊建設の DREAM 工法が道路海底トンネルアプローチ部の建設に活躍しています。

DREAM工法は平成15年度国土交通省のテーマ設定技術募集システムで長期的テーマの画期的技術に選定されました。

DREAM 工法 掘削作業を地上からの遠隔操作で行う高気圧作業の無人化ニューマチックケーソン工法



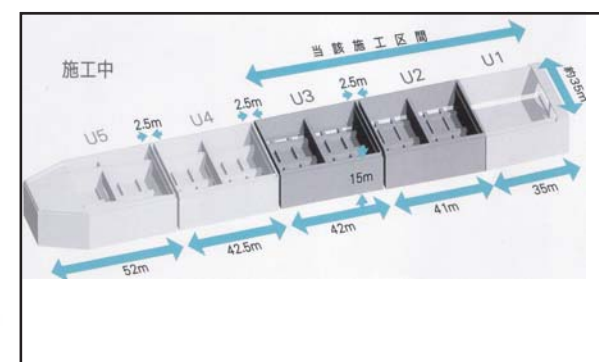
工事名 : 新若戸道路擁壁部本体築造工事 (若松側)
 工事場所 : 北九州市若松区北浜
 発注者 : 国土交通省九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所

新若戸道路は、国際物流拠点整備の一環として北九州港若松航路を横断し若松区と戸畑区を結ぶものであり、海底部の沈埋トンネルと両サイドアプローチ部の陸上トンネル・U型擁壁により建設されます。

この内、若松側アプローチ部のU型擁壁の施工は、隣地に定置式クレーン設備等が近接して設置されており、通常の掘削・構築による施工法ではこれらに対し変位等の有害な施工影響が懸念され、大型のケーソン4函 (U2, U3, U4, U5) を地上で構築・地下15mまで沈設することにより、施工影響制御しつつ建設します。

当社は、U2 および U3 の施工を担当しております。

【ケーソン寸法 : B × L × H】
 U2 : 35m × 41m × 15.3m , U3 : 35m × 41m × 15.0m



施工状況写真



隣地クレーン設備との近接施工状況



函内掘削状況 (DREAMII型)



U2 施工状況①



U2 施工状況②